

作成日 2011年3月7日

改定日 2013年11月26日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 :ゼラストアクティブパック LS-T350・LS-T330  
会社名 :大洋液化ガス株式会社  
住所 :東京都中央区日本橋堀留町 1-3-21  
担当部門 :ゼラスト事業部  
電話番号 :03-3667-5201  
FAX 番号 :03-3667-5206  
メールアドレス :zerust.email@taiyolpg.com  
緊急連絡先 :同上  
受付時間 :月曜日～金曜日 9:00～17:20  
推奨用途及び使用上の制限 :主として、鉄の防錆。アルミ・銅及び銅合金の防錆。

### 2. 危険有害性の要約

包装されている製品は、ポリ袋から取り出して使用する。その際、取り出した不織布の袋を破損しないように注意すること。不織布の袋の中身を取り出さないこと。

#### GHS 分類

#### ラベル要素

絵表示



注意喚起語

:警告

危険有害性情報

:飲み込むと有害

:皮膚刺激

:強い眼刺激

:呼吸器への刺激の恐れ

#### 注意書き

安全対策

:粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

:取り扱い後は手をよく洗うこと。

:この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置

:飲み込んだ場合、気分が悪い時には医師に連絡すること。

:口をすすぐこと。

:皮膚へ付着した場合、大量の水と石鹼で洗うこと。

:眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着

用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄 : 内容物/容器を国、地方自治体の規制に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : 気化性防錆材

成分及び含有量

CAS No.	化学名	割合	有害性情報
1863-63-4	安息香酸アンモニウム	5 - 40%	急性毒性・経口(区分4) 皮膚刺激(区分2) 眼刺激(区分2A) 特定法的臓器毒性(単回暴露)(区分3)
-	無機塩充填剤(非有害物)	< 1 - 75%	-

国連分類及び国連番号 : 該当しない。

PRTR 法 : 該当しない。

### 4. 応急措置

**: 本製品は粉末状であるが、通常袋に入った状態で使用するため、製品を取り出さない限り、製品そのものが付着することはない。万が一、偶然もしくは人為的に製品を分解し、中の粉末が露出した場合において、以下の措置を行う。**

吸入した場合 : 新鮮な空気のところへ移動させる。呼吸器への弱い刺激を引き起こす可能性がある。必要があれば人工呼吸を行う。刺激が継続する場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼でよく洗い、石鹼洗いとすすぎを数回繰り返す。必要があれば汚染された服を取り除く。刺激が継続する場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 瞼を開いて大量の流水で15分以上洗う。医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせない。水で口の中をすすぐ。医師の診断を受ける。

その他 : 継続的な刺激により医師の診断を受ける場合にはこのMSDSを医師に見せること。

### 5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末・炭酸ガス・ドライケミカル。霧状の水。ウォータージェットは使用

特有の有害危険性	しないこと。 : 燃焼した場合、一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物及びアンモニアを発生する。
消火を行う者の保護	: 必要に応じて、呼吸装置内蔵の保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 保護具を着用する。保護具を着用していない人を漏出場所から遠ざける。適切な換気を確実に行う。 呼吸性粉塵を避ける最も良い方法は、製品が入っている袋を開けないこと。もし、袋から粉末が漏れている場合には『13.廃棄上の注意』を参照する。呼吸性粉塵/粒子を発生させないようにする。
保護具の着用	: 保護具(眼鏡・マスク・手袋)を着用し、作業する。
環境に対する注意事項	: 内容物が土壌、河川等へ流出し、汚染することを防ぐ。
回収・中和	: 可能であれば、漏れ出た粉末を回収し、流出物を封じ込め、粉塵や浮遊粒子の形成を避ける。 : 必要に応じて回収のために、ヘパフィルターのある掃除機を用いる。 : 適切な換気を行う。製品を河川、海等、環境中へ排出しないこと。 : 漏出物は適切な容器に移すこと。 : 法令に従い廃棄すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
注意事項	: 小袋は保護用包装中に密閉しておくこと。使用の際は、袋から粉末が漏れていないことを確認し、漏れている場合には廃棄すること。 作業場所では常に排気装置を稼動すること。 この製品を取扱う場合には常にゴム製の手袋、保護眼鏡を使用すること。 粉塵、浮遊粒子の形成を避け、粉塵の吸入や目への接触を避けること。
保管	
保管条件	: 使用しない時は、保管容器または袋を密閉すること。ポリプロピレン及びポリエチレン容器、テフロン及びガラス容器、Plasite3066 製容器、Plasite3070 製容器を使用すること。 製品は吸湿性であるため、使用しない時は、乾燥した換気の良い場所に保管する。

技術的対策 : 涼しく乾燥した、直射日光の当たらない場所へ保管すること。  
: 強力な酸化剤、強酸、強アルカリ、重金属と一緒に保管しないこと。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 通常の使用の際は、ドラフトを使用すること。換気装置は浮遊粒子が形成された場合に特に必要となる。  
呼吸性粉塵を抑制する効果的な装置は、排気装置、局所的な集塵装置、下向通風のワークステーションの設置などがある。装置はこの限りではない。

許容濃度 : 粉末が漏れ出している場合に該当  
CEIL(粉塵/浮遊粒子) 5mg/m<sup>3</sup>、TWA(粉塵/浮遊粒子) 0.2mg/m<sup>3</sup>

保護具

呼吸用保護具 : 適切な換気装置が無い場合、ろ過式呼吸用保護具のついた微粒子用マスク(N95)またはそれと同等のものを使用すること。\* N95 マスク - NIOSH(U.S.)による規格で耐油性がなく 0.1 ~ 0.3 μm の微粒子を 95% 以上除去できる性能を有するマスク。

手の保護具 : 保護手袋を着用すること。

目の保護具 : 化学用眼鏡または保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 : 保護服を着用すること(エプロン、つなぎ、ブーツなど)。

衛生対策 : 食物、飲料、幼児の食事から遠ざけること。  
汚れたり、汚染された衣類はすぐに取り除くこと。  
取扱い後には必ず手を洗うこと。  
目、皮膚への付着を避けること。  
使用する場所の近くに洗眼設備、シャワーを置くこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等 : オレンジ色ポリエチレンの袋(外装)・黄色不織布(内容物に入った袋)  
灰色の粉末(内容物)

臭い : 独特な臭いを有する。

pH : 9-10.5

凝固点 : 該当なし。

かさ密度 : > 2g/ml @25°C

臭気限界 : 該当なし。

VOC 含有量 : 該当なし。

蒸気圧(mmHg) : 測定データなし。

含水比/水溶解性	: 該当データなし。
溶媒容量/溶解性	: 該当なし。
粘度	: 該当なし。
分解温度	: 該当なし。
引火点	: 171°C
爆発限界	: 該当なし。
可燃性	: 該当なし。
自動点火温度	: 400°C
溶解度	: 該当なし。

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 『7.取扱い及び保管上の注意』に記載されている通りに保管する場合においては安定
自己反応性・爆発性	: なし
危険有害反応可能性	
避けるべき条件	: 強還元剤・金属粉末・過酸化物。
混触危険物質	: 酸化剤と強い酸性環境を避けること。 第2アミン類を含む製品と併用しないこと。
危険有害な分解生成物	: 金属酸化物、炭素酸化物、窒素酸化物及びアンモニア。

## 11. 有害性情報(人についての症例、免疫学的情報を含む)

	: 製品を分解しない限り、有害性は生じない。
急性毒性	: 飲み込むと有害。
皮膚への接触	: 刺激性を生ずる恐れがある。
皮膚への吸着	: 通常の圧力で、粉の状態では該当しない。
眼への接触	: 刺激性を生ずる恐れがある。
吸入	: 吸入した場合、恐らく有害性があり、不快な粉塵として、気道に刺激性を生ずる恐れがある。
経口摂取	: 飲み込んだ場合有害である。
PRTR 対象物	: 該当しない

## 12. 環境影響情報

一般情報	: 取扱い、廃棄を正しく行うこと。環境に放出された場合、水系環境に長期にわたり悪影響を及ぼす可能性がある。
生態毒性	: 魚(ファットヘッドミノー) LC50:484mg/l 96時間 (安息香酸アン

	モニウム)
残留性・分解性	:現在のところ知見なし。
生態蓄積性	:現在のところ知見なし。

---

### 13. 廃棄上の注意

:関連法規又は地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出しないこと。

---

### 14. 輸送上の注意

陸上輸送	
消防法	:危険物に該当しない。
海上輸送及び航空輸送	
船舶安全法	:危険物に該当しない。
航空法	:危険物に該当しない。
EMS-No.	:F-H, S-Q
EU	:(EC) No689/2008 Annex にリストされている化学物質はこの製品中に含まれていない。
注意事項	:特になし。

---

### 15. 適用法令

消防法(危険物)	:危険物に該当しない。
水質汚濁防止法	:該当しない。(ただし、河川等に流出させない場合に限る)
毒物劇物取締法	:製品としては該当しない。
化審法既存化学物質	:この製品に含まれる酸化剤は化審法既存化学物質にリストされている。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	:産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

---

### 16. その他情報

1. 製品安全データシートの作成指針 (社) 日本化学工業協会
2. PRTR調査対象物リスト(2009年度) 経済産業省HP
3. Northern Technologies International社製安全データシート
4. JIS Z 7250 化学物質等安全データシート(MSDS)

---

ここに記載した情報は信頼できるとみなされる出所から編集されたものであり、弊社の知る限りでは執筆の時点で正

確なものです。本製品安全データシートにおけるデータは、ここに規定された製品にのみ関するものですが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関していかなる保証を行うものではなく、またその品質を保証するものでもありません。製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものであります。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要です。この製品が使用される環境及び条件については弊社がコントロールできない為、弊社は購入者又は第三者に対する損傷に対して、又は物的損害に対していかなる責任を負うものではありません。本MSDSの改訂版を受領した場合は、旧MSDSを廃棄下さるようお願いいたします。